

# 農の広場

登米市農業委員会だより

第34号

令和3年10月



## 農地利用状況調査研修会

農地利用状況調査員委嘱状交付式および研修会が、7月13日に中田生涯学習センターで開催されました。

今年も新型コロナウイルス感染症予防のため、第一分科会(迫、豊里、米山、南方)が午前、第二分科会(登米、津山、東和、中田、石越)が午後に分かれて行われました。

今年度は、農地利用状況調査と農地パトロールの2つの調査を同時進行で行います。

担当：菅原委員



## 農地利用最適化推進連携会議

登米市農業委員会では、それぞれ役割の違う農地利用最適化推進委員と農業委員とで情報共有するための会議を毎月5日（5日が休日時は休日明け）に行っております。

会議では、農地利用最適化推進委員が日頃調査をしている農地の利用状況や、農業委員が総会で審議している農地の売買・転用などの情報共有を行っています。

この会議があることで、お互いの業務内容を理解し、きめ細かい農業委員会の活動ができています。

担当：岩淵委員



### 農業委員の主な業務

- ・ 総会議案審議、現地調査等
- ・ 農業委員会だより等による情報提供
- ・ 農地等の利用最適化の指針策定
- ・ 関係行政機関等に対する農業委員会の意見の提出
- ・ 市全域の現場活動

### 農地利用最適化推進委員の主な業務

- ・ 「実質化された人・農地プラン」の実践
- ・ 担い手への農地集積・集約化の推進
- ・ 担当区域の全農地の利用状況調査
- ・ 遊休農地化している農地の所有者への意向調査
- ・ 遊休農地対策
- ・ 新規就農、新規参入の促進

お気軽に  
ご相談ください

## 農地利用最適化推進委員の活動

農業者の高齢化や後継者不足から年々耕作放棄地（遊休農地）が増加傾向にあります。

生産基盤である優良農地の確保と効果的利用のために、毎月の定例農地パトロールと7月から9月にかけて一斉に農地利用状況調査を行っています。

私たちは遊休農地の発生防止・解消と担い手への農地集約・集積促進に向けて活動しています。

遊休農地対策特別委員会  
門脇 昭雄



相続をしたいがどうすればいいのかわからない、耕作放棄地になっている田を貸したいが未相続のため契約ができないなどの相談があります。

どこに、誰に相談したらよいか知らない人もいます。

そういう時は、私たち農地利用最適化推進委員にご相談ください。

農地の集約・集積・分散作圃の解消や、空きハウスの有効活用などといった様々な問題に、関係機関が連携して活動することが大事だと思います。

農地集積対策特別委員会  
亀井 達夫



## 農業者等との意見交換会

農業者等との意見交換会が7月15日、中田農村環境改善センターで開催されました。

まずは「儲かる農業」をテーマに「儲かる農業というが、そもそも何と比べて儲かるということなのか」「儲けはもちろん大事だが、それ以外の農業の役割や、地域の問題をよく考えなくてはならない」といった鋭い意見が出されました。また「人口減少や高齢化が進む中、単なる増産や就農者の増加だけを考えても解決にならない」という意見からは農業を取り巻く課題の大きさや、解決の難しさを感じさせられました。

農業委員会や各関係機関の地域に根ざした活動が、より重要であると改めて考えさせられました。

担当：櫻井委員



## 登米市農業者年金加入推進会議

中田農村環境改善センターにおいて、登米市農業者年金加入推進会議が7月9日に開催されました。農業者年金は、農業者の老後の生活を支える大きな力になります。農業委員会では、農業者が若いうちから老後に備えられるよう加入を推進しています。いろいろなメリットもあるので詳しいことは、地域の農業委員や農業委員会にお尋ねください。

担当：鈴木委員



終身年金で  
安心！

詳しくは… 農業者年金基金 検索  
<https://www.nounen.go.jp>

## 知って得する！農業者年金

農業者の方は、国民年金の上乗せの公的な年金  
「農業者年金」に加入して安心で豊かな老後を！

■ 農業者なら誰でも入れる「終身年金」です！

■ 一定の要件を満たす方には、  
月額最大1万円の保険料補助

■ 加入で大きな節税効果！  
保険料は全額社会保険料控除の対象

※農業者年金の加入には、  
「国民年金第1号被保険者であること」  
「年間60日以上農業に従事していること」  
「60才未満であること」  
の3つの要件を満たしている必要があります。  
※詳しくは、お近くの農業委員会、又はJAへ！



農地・農業者年金等に関するご相談は、登米市農業委員会へお問い合わせ下さい。  
登米市役所中田庁舎2階 ☎0220-34-2317 メールアドレス [noui@city.tome.miyagi.jp](mailto:noui@city.tome.miyagi.jp)

## 家族経営協定を結び、農業者年金にも加入

剛さんは、以前勤めていた会社を辞め就農して2年目になる稲作専業農家です。現在、水稻15haの面積を経営していますが、将来は20haまで規模拡大を目指してがんばっています。

昨年、母と家族経営協定を結び、農業者年金にも加入しました。老後、国民年金だけでは不安なところがありました。申告のとき節税にもなり、母の勧めもあって加入を決めました。

しかし、この先の米価がどうなるか不安そうでした。「国は米政策をさらに充実させ安心して暮らせる農業政策に取り組んでもらいたい」と話してくれました。

担当:浅野委員



しとり ころ  
南方町 白鳥 剛さん

## 体験を通した人づくり・ものづくり



ことう せいすけ  
豊里町 後藤 清亮さん

清亮さんは、子供たちが農産物のできる過程や、土とふれあう体験の場が少なくなってきた中で、グリーンツーリズムの受け入れや、家族参加型の『学び・感じる・感動して笑いあえる思い出の場』を提供し、農業に対する認識や知識を深めてもらう活動をしています。

以前は大手製造メーカーの工場長をしていましたが、退職を機に農業に従事しています。「生産工程と環境が整った工場では一定の品質で製品が作れるが農業は違う！気候の変化などによって品質が左右される難しさが楽しい！」と自信作のテーブル、いす、そしてピザ窯が置かれた場所で楽しそうに熱い話をしてくれました。

担当:佐藤委員

## 購読しませんか



全国農業新聞は地域農業者の代表機関である農業委員会のネットワークが発行する週刊の農業総合専門誌です。

週刊 金曜日発行  
(原則月4回)  
月700円、年8,400円  
(消費税込)

申し込み・お問い合わせ先  
登米市農業委員会事務局 ☎0220-34-2317  
FAX番号 0220-34-2801

### 編集委員

委員長 岩淵 櫻井 利光  
副委員長 浅野 和宏  
委員 尾張 勝  
菅原 瑛彦  
佐藤 浩之  
菅木 泰子  
尾張 勝  
浅野 和宏  
尾張 勝  
菅原 瑛彦  
佐藤 浩之  
菅木 泰子

今年は、平年より梅雨明けも早かったため稲の生育も順調すぎるくらいなのか7月20日頃から穂が出始めている圃場があり驚きました。

私の経営する農業法人では、盆用菊を露地栽培しております。異例となる台風の宮城県への上陸があり、とても心配しましたが大きな被害もなくほつとしました。

登米市の水田でも、いろいろな作物を栽培しているのが見えるようになりました。コメ余りの中、ますます収益の確保できる作物に取り組んでいかなければならないと考えています。

## 編集後記